



政府統計

報道関係者 各位

平成 29 年 6 月 14 日

【照会先】

政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室

参事官 廣瀬 滋樹

室長補佐 大村 達哉（内線 7471）

計析第一係（内線 7470）

（代表電話） 03（5253）1111

（直通電話） 03（3595）2812

平成 29 年度 人口動態統計特殊報告

平成 27 年都道府県別年齢調整死亡率の概況

—主な死因別にみた死亡の状況—

厚生労働省では、このほど、平成 29 年度人口動態統計特殊報告「平成 27 年都道府県別年齢調整死亡率—主な死因別にみた死亡の状況—」の概況を取りまとめましたので公表します。

「都道府県別年齢調整死亡率」は、「人口動態統計」をもとに昭和 35 年から 5 年（国勢調査年）ごとに算出し、今回が 12 回目となります。

年齢調整死亡率は、死亡数を人口で除した通常の死亡率（粗死亡率）と違い、年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるようにするための死亡率のことです。この死亡率は、年齢構成をそろえた場合の人口 10 万人あたりの死亡数を表しています。この死亡率を用いることによって、年齢構成の相違を気にすることなく、より正確な地域比較や年次比較をすることができます。

【結果のポイント】

＜全死因における全国の年齢調整死亡率＞

○平成 27 年は男性 486.0、女性 255.0 で、前回（平成 22 年）と比較すると、男性は 58.3 ポイント、女性は 20.0 ポイント低下し、死亡状況は改善されている（3 頁）。

	年齢調整死亡率 (人口10万対)	
	男性	女性
平成27年	486.0	255.0
平成22年	544.3	274.9
差	△ 58.3	△ 20.0

※詳細は、別紙概況をご参照ください。

<全死因における都道府県別にみた年齢調整死亡率>

○男性は長野、滋賀、奈良等が低く、青森、秋田、岩手等が高くなっている。また、女性は長野、島根、岡山等が低く、青森、福島、茨城等が高くなっている。（4頁）

年齢調整死亡率(人口10万対)								
男性				女性				
低位		高位		低位		高位		
1	長野	434.1	青森	585.6	長野	227.7	青森	288.4
2	滋賀	437.9	秋田	540.3	島根	236.9	福島	275.7
3	奈良	452.9	岩手	522.5	岡山	238.4	茨城	273.8

<三大死因における都道府県別にみた年齢調整死亡率>

○悪性新生物・・・男性は長野、滋賀等が低く、青森、秋田等が高くなっている。女性は岡山、長野等が低く、青森、北海道等が高くなっている。（10頁）

○心疾患・・・男性は福岡、佐賀等が低く、千葉、岩手等が高くなっている。女性は福岡、富山等が低く、愛媛、和歌山等が高くなっている。（14頁）

○脳血管疾患・・・男性は滋賀、奈良等が低く、青森、秋田等が高くなっている。女性は大阪、滋賀等が低く、岩手、栃木等が高くなっている。（16頁）

年齢調整死亡率(人口10万対)													
悪性新生物				心疾患				脳血管疾患					
男性		女性		男性		女性		男性		女性			
低位	高位	低位	高位	低位	高位	低位	高位	低位	高位	低位	高位	低位	高位
1	長野 132.4	青森 201.6	岡山 75.2	青森 103.0	福岡 42.3	千葉 81.0	福岡 23.9	愛媛 42.8	滋賀 26.4	青森 52.8	大阪 16.6	岩手 29.3	
2	滋賀 149.1	秋田 185.8	長野 76.6	北海道 99.5	佐賀 50.2	岩手 80.5	富山 27.3	和歌山 42.1	奈良 29.0	秋田 52.2	滋賀 17.1	栃木 28.5	
3	福井 150.5	鳥取 185.8	徳島 78.1	秋田 97.7	愛知 52.6	愛媛 80.3	長野 28.3	千葉 41.3	和歌山 32.4	岩手 51.8	沖縄 17.5	青森 28.2	

※詳細は、別紙概況をご参照ください。